

いたやなぎ 町議会だより

令和3年
12月定例会

第32号
2022. 2. 10



板柳町老人クラブ連合会女性部部長の上原信子さんにお話を聞きました。

日々、本を黙読ではなく、音読したところ、最近はどんどん読むスピードが早くなり、脳の活性化に効果を感じ、会員にもおすすめしたそうです。

取材のなかで、ただ長生きしたいのではなく、健康に歳を重ねていきたいと話していました。また、コロナ禍で自粛傾向であった行事も少しずつ復活していきたいと話していました。

同会では会員だけではなく、一般の方も参加できる行事も実施しているそうです。

(写真左：三戸 武会長 写真右：上原信子部長)

主な内容

- | | |
|---------------------|---------|
| ●7人が一般質問 | P 2 ~ 8 |
| ●一目で分かる審議結果 | P 9 |
| ●常任委員会審査 | P 10 |
| ●小学校統合問題検討
特別委員会 | P 11 |
| ●視察研修他 | 裏表紙 |

板柳町の夢進人！

～生涯健康！健康に歳を重ねていきたい～

板柳町老人クラブ連合会

町民の声を町政に

第8回定例会一般質問

第8回板柳町議会定例会が12月3日から9日までの日程で開催されました。12月7日に行われた「一般質問」に、7名の議員が登壇し質問しました。
一般質問は、議員の日常活動と町民の声や議員自身の考え方をもとに町長や教育長などの方針を問うものです。

板柳町議会では、1人60分の制限時間があります。議会だよりは、スペースの都合上、1人1ページ相当の文章量までとし、質問と答弁が要約してあります。臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。

米価下落に伴う今後の水田農業の経営安定策について



工藤 貢

問 農家の高齢化や後継者の不足が進む中で、今回の引下げは、農家の生産意欲を後退させ、離農にもつながり、耕作放棄地の増加や集落の衰退を招くことが懸念される。今後の水田農業の経営安定策について伺う。

答 (成田町長) 当町では、国、県に対して、米価下落対策の要望活動を積極的に行った。町独自の農家支援策として、つがる口マンとまっしぐらの主食用米生産農家に対して、10アール当たり5,300円を支援するため、今定例会に係算の補正をお願いしている。承認いただき、直ちに受付を開始して、早期に農家の皆さんに支援金を交付したい。今後は、農家の経営安定に向け

バーベキュー施設の整備について

て、主食用米から非主食用米への作付転換や高収益作物への取組をさらに推進するとともに、国のならし対策や農業経営、収入保険への加入の呼びかけを徹底してまいりたい。

問 われわれ公正会は、安全性、利便性、快適性、そして将来性が期待でき、事業費の削減もできることから、町が提示しているモニュメント広場の一角を利用した場所に賛同している。一日も早い整備をお願いしたいが。

答 (成田町長) 令和2年3月定例会において、議会から附帯決議が提出され、議会とさらなる協議を重ね、合意形成を図り、予算執行することが求められているため、残念ながら現在も議会の理解が得られず、整備ができない状況である。附帯決議の賛成討論で利用者の利便性と安全性の確保が要望されている。こうした状況を受けて、これまで11回の議員全

統合小学校の整備について

員協議会を開催し、いろいろな視点から議員の皆様と協議を重ねてきた。解体する前の場所については、車の通り抜けができない場所で、近くには温泉源泉の可燃性ガスの排気筒があり、火気使用のバーベキュー施設の場所には問題がある。このため、車の心配がなく安全で、周辺には青柳館や工芸館、子どもの遊び場があり相乗効果が期待され、場所が分かりやすく将来性が見込めるモニュメント広場の一角を利用した場所を提示している。

問 11月に2回目の小学校統合整備審議会が開催されたが、どういったことが審議されているのか。

答 (永澤教育長) 説明資料として、平成25年度に策定された板柳町立小学校適正規模・適正配置等に関する報告書及び板柳町立小学校の統合構想について、板柳町人口ビジョン2020年改訂版、板柳町立小学校児童数の推移、板柳町立小学校経過年数及

び修繕計画について、また、近隣の鶴田小学校と新和小学校の統合の経緯等について説明した。そのほか総務課長には、廃校等施設の利活用について、企画財政課長からは、統合小学校建設に伴う財源等についての説明をいただいた。

問 2回目のアンケート調査を行ったようだが、町のホームページや広報紙に掲載し、広く町民に知らせてほしいが。

答 (永澤教育長) 第1回のアンケート結果を町のホームページや広報紙に掲載している。第2回目のアンケート結果も同様に掲載したい。

問 統合時期は、いつ頃を想定しているのか。

答 (永澤教育長) 複式学級を有する学校や部活動の問題など、教育活動を展開する上で様々な影響を及ぼしている。今後は、小学校統合整備審議会での推移等を見守りながら、統合時期を定める。





今 浩一

3回目ワクチン接種に向けての対応と5歳から11歳の若年層への接種について

問 3回目接種に向けての対応と予定を伺う。

答 (成田町長) 対象者には、随時接種券を送付して、これまでと同様、各自で予約していた

とき、町内の医療機関で接種することになる。高齢者の方については、2月頃からの開始を予定している。

問 5歳から11歳の若年層への接種も検討されているが、当町としての対応と接種予定について伺う。

答 (成田町長) 国は、小児用コロナワクチンについては、早ければ来年の2月頃から開始を見込んでいます。

インフルエンザ予防接種について

問 昨年はインフルエンザ予防接種を無料としたが、今年の対応については。

答 (成田町長) 今年度は従来どおりの高齢者と乳幼児を対象にした助成事業を行っている。

小学校統合について

問 少子化に伴い、今後の小学校の在り方を考えると、統合は賛成である。統合方法は、小学校建設による新築統合や既存校を改修する既存統合などの選択肢があるものと考えます。

その中で、教育委員会は、40億円を超える工事を投入し、小学校建設による新築統合を選択した。町では、この問題と同時に、数多くある老朽施設なども多額な予算が必要になることが予想される。これらを踏まえ、将来における町の財政が圧迫されないよう総合的な計画の検討を行った上で、最適な方法を選択してほしい旨を伝えているが、議会へも町民にも説明がない。小学校建設による新築統合を選択した教育委員会は、町の財政に影響をもたらす

ことはないという判断で進めているのか。

答 (永澤教育長) 企画財政課と協議して、町の中期財政計画の中において起債の償還等も含めてシミュレーションをお願いし、概算工事費を加えても町民サービス等の低下にはつながらないという回答をいただいている。

問 この統合の基本方針は、そもそも町長が教育長へ指示したのか。

答 (成田町長) 教育委員会の内部で決めている。

問 当町の現状や将来性を考えると、3つの統合方法の選択がある。1つは、教育委員会が示す小学校を建設し、1校とする新築統合。2つ目、北小もしくは南小のどちらかを改修し、1校とする既存統合。3つ目、北小と南小を改修し2校とする既存再編統合。教育委員会が示す新築統合は莫大な予算が必要となり、町が抱える様々な課題に特に影響がないのであれば、反対するものではない。一方で、既存統合や既存再編統合は、当町からできる統合方法である。既存の北小及

び南小は、老朽化は見られるものの、町内小学校全児童数を受入れできる規模を持った学校である。耐震性能も問題ないことから、大規模改修をすることで今後十分使用できるものである。これらを念頭に、議会でも十分理解した上で判断する必要があると思う。そのために小学校統合問題検討特別委員会では、教育委員会との連携を求めているが、応じないのは、統合自体が小学校を建設することを目的としているからではないか。

問 新築が目的でないというが、子どもたちに快適な環境をつくりたい。そして、いろいろ多角的に検討した結果、新築の校舎で子どもたちに学ばせたいという思いで教育委員会は考えている。

答 (永澤教育長) 町の財政面について、平成30年度の監査委員による監査報告では公共施設の老朽化は、深刻な問題であり、補修、改築、建て替えなどの対策方法はあるが、それらの選択が将来の町の財政に大きな影響をもたらすことは明白であると報告している。当然教育長

もこの監査報告は承知しているものと思いが、その上で、小学校建設による統合が適正と判断し、選択したのか。

答 (永澤教育長) 学務課長や企画財政課長のご意見を伺い、対応できるのではないかとということで教育長としては考えている。

問 企画財政課長は、この監査報告、大丈夫だと判断して教育長に話をしたのか。

答 (山口企画財政課長) お伝えしている段階では、まだ監査報告が出る前にシミュレーションをさせていたただいておりまして、その段階で理解して、監査報告を基にというのはございません。

問 この問題を検討している教育委員及び教育長が諮問した小学校総合整備審議会の方も同様で、この監査報告の意味を理解した上で検討、審議しているものか。

答 (永澤教育長) 企画財政課長に説明いただいた経緯があるので理解していると思つ。



三戸 玲子

検診について

問 女性特有の子宮がん・乳がんについて、30代から40代の受診率は。

(成田町長)

答 20歳以上の女性を対象に子宮頸がん検診と40歳以上の女性を対象に乳がん検診を実施し、令和2年度の受診率では、子宮頸がんが30代で14.9%、40代で15.2%、乳がん検診については17.4%となっている。

問 個人的に受診している人たちは網羅しているのか。

(芦田健康推進課長)

町の独自集計であり、入っていない。

問 PRはどの様におこなっているのか。

(成田町長)

答 年2回毎戸配布しているほか、町広報紙や町ホームページに掲載し、検診の

PR活動を行っている。また、国民健康保険や後期高齢者医療の加入者には、郵送でお知らせしている。

我が町の産直状況について

問 施設の売上げ状況はどんな状況なのか。

(成田町長)

答 当町には、とれたて市、彩菜館、とりたて一番の3つの産直施設がある。令和2年度の売上額は、とれたて市が約3,100万円、彩菜館が約1,800万円、とりたて一番が約300万円である。

問 学校統廃合の跡地など、地元のを売る場所も新たに考えてみてはいかがか。

(成田町長)

答 地域住民の意見、そして議員の意見を取り入れながら、最終的に判断する必要があると考えている。

各小学校の部活動について

問 現在、どんな部活動があり、何人が所属し、

誰が指導しているのか。

(永澤教育長)

答 板柳北小学校の部活動は3つである。野球部は部員11名で、保護者を含む外部指導者が指導している。陸上部は部員21名で、教諭1名が指導している。卓球部は部員8名で、教諭1名が指導している。板柳南小学校の部活動は4つである。サッカー部は部員17名で、教諭1名が指導している。陸上部は部員23名で、教諭1名と外部指導者1名の2名で指導している。卓球部は部員15名で、教諭2名と外部指導者1名の3名で指導している。器楽部は部員11名で、教諭3名で指導している。小阿弥小学校の部活動は2つである。卓球部は部員12名で、教諭1名が指導している。陸上部は部員17名で、教諭1名が指導している。板柳東小学校の部活動は1つである。卓球部は部員6名で、教諭2名で指導している。いずれの小学校も児童数の減少に伴い、部活の数は減少傾向である。また、教諭のみならず外部指導者の方々にもご協力をいただき、部活動が行われている

状況である。

板柳高校について

問 募集を停止してから我が町の生徒達の進学状況はどのように変わったか。

(永澤教育長)

答 板柳高校が令和2年度より募集を停止したことによって、板柳中学校の生徒の進学状況は、五所川原工科高校普通科への進学を希望する生徒は多いものの、五所川原方面、弘前方面の進学希望者の割合に大きな変化は現れていない。また、昨年の進学状況と今年度の志望状況についても、私立高校の経済的な負担が公立高校とあまり変わらないことから、特待生や推薦入学で私立高校を第一希望とする生徒も増えているというのが現状である。

問 閉校後の再利用はどうか考えているのか。

(成田町長)

答 現在板柳町立小学校・板柳高等学校校利用庁内検討会議を立ち上げ、小学校統合後の跡地と板柳高校閉校後の跡地の利活用について調査、検討を進めている。

議会を傍聴しませんか 次の定例会は3月です

<議会日程のお知らせ(予定)>

月日	内容
3月7日(月)	本会議 特別委員会報告等、提案理由の説明 予算特別委員会の設置
3月9日(水)	本会議 一般質問
3月11日(金)	常任委員会 総務産業厚生・福祉建設文教
3月14日(月)	特別委員会 予算特別委員会
3月16日(水)	特別委員会 予算特別委員会
3月17日(木)	本会議 委員長報告、質疑・討論・採決

※開催予定時間はいずれも午前10時です。

傍聴者名簿に住所、氏名、年齢を記入しただけであれば、どなたでも本会議を傍聴することができます。ただし傍聴する際は、マスクの着用をお願いします。また、発熱等の症状がみられる方はお断りする場合があります。





鈴木 清孝

町の人口減少対策について

問 移住・定住施策に対する取り組みと今後の方策について伺う。特に、若者層の移住・定住促進策について伺う。

答 (成田町長)

人口減少対策は、町の最重要課題であり、人口減少スピードを緩やかにするため、まち・ひと・しごと創生総合戦略や長期振興計画など、人口減少対策や定住対策の様々な施策を掲げている。特に、若い世代の定着と出生数が鍵になると考えており、子育て世帯定住サポート事業や高校生までの子供医療費の無料化など、様々な取組を進めている。2年間家賃の補助をすすめる新婚生活家賃補助金について、実例であるが、若い夫婦が都会から板柳町に帰ってきたが、結婚した

のが5月で、5月から申請月の10月までの期間は、2年間の補助対象から外れる。そういった場合、弾力的に2年間適用できないものか。

答 (成田町長)

この制度を利用し、定住した方22人、町民37人が既に同じ条件でやってきているので、今後内部で検討してみたい。

問 全国的に過疎化が進む中、人口が増えている町もある。いろいろなソフト、ハード事業を絡めて、移住、定住者が増えている。町の若い職員を派遣して研修させてはどうか。

答 (成田町長) 板柳に住み続けたい、あるいは町外から見ると、板柳に住んでみたい、そういった魅力発信することも大事。総合的に人口減少対策へつなげていきたい。

問 藤崎町では、本年度から町独自で移住、定住コーディネーターを採用している。当町でも早く手がけるべきでは。

答 (成田町長) 町では今現在、企画財政課で移住支援事業を行っている。こういった体制が

いいのかどうか内部で調査、研究したい。

今冬の雪対策について

問 町の除排雪作業の今までの実績と、今後の作業計画について伺う。

答 (成田町長)

積雪深がおおむね5cmから10cmが出動基準となっており、天候、路面の状況など、様々なケースに応じて出動している。この冬も町民の皆さんが快適に安心して生活ができるよう鋭意取り組んで行く。

問 青森市などでは、除雪機にGPS装置をつけ管理をしているが、当町も導入を検討できないか。

答 (成田町長) 山間部や除雪区域が広大なところはそれなりに効果があると思うが、板柳町においては、GPSの導入は、費用対効果を考えた場合、必要性があるのか、疑問もある。今後調査していきたい。

問 ドーザーとロータリーを組み合わせた除排雪をできないか。

答 (成田町長) 雪が長く続いてくると、道路の新雪を取り除くので

精いっぱい、ロータリーまで行けない。なかなか厳しいと思う。

ふるさとセンター青柳館 温泉浴場の脱衣所拡幅と営業時間について

問 脱衣所の狭さが利用者から指摘されており、スピード感を持って対処すべきと考えるが。

答 (成田町長)

脱衣所の棚を窓側に移動させ、これまでの横4列から横8列に広げることで改修を進めており、予定では今月中に改修を終える。

問 青柳館温泉の営業時間を早めてはいいかがか。

答 (成田町長)

現在朝7時から営業しているが、時間を早めることで、施設の管理体制や経費増大の課題が生じてくる。費用対効果など総合的に調査、研究する必要がある。

職員管理及び人材育成について

問 近年、年度途中で退職する職員がいるが、職員管理と配置計画が適正に行われているのか。

答 (成田町長) 業務の内容を勘案しながら対応している。また、年度途中で職員が退職した場合や出産、育児休暇等で長期休暇を取得する場合は、会計年度任用職員の配置や人事異動で対応している。

問 昨年、今年と年度途中で辞めた職員は何人か。

答 (大井総務課長) 令和2年度は3名、令和3年度は11月末現在で3名である。

公共用地等の取得価格について

問 基準等についてどの様に算出しているのか。

答 (成田町長)

直近の買収した取得価格を参考し、当該取得場所周辺の取引価格の相場を調査し、算出している。

問 国、県の事業であれば分かるが、町の事業であれば、町の現況の相場というものがあると思うが。

答 (村上副町長)

昔は1反歩いくらという取引事例があったが、やはり国のしっかりした要綱に基づいて、責任ある買収、用地補償をするのがいいのではないかと考えている。



佐藤 文俊

交通不便地域の解消 へ向けた公共交通の 整備について

問 町内における公共バス路線が廃止され、核家族化による高齢世帯の増加や社会情勢的な免許の自主返納等が相まって、町民の日常生活へ交通不便が及ぼす影響は、年々大きなものとなっている。そこで役所や金融機関、病院、買物店などを巡回するコミュニティバスの導入を再度検討できないか伺う。交通不便地域の解消は、中心市街地の活性化や高齢者の外出促進にもつながる大変有効な住民サービスであると考えられているかがか。

答 (成田町長)
高齢者の方や運転免許を返納した方など、自家用車を利用しての移動がで

ない方々の足の確保は、大変重要な課題であると認識している。他の自治体においては、コミュニティバスを運行している事例などあるが、町単独で運行するためには、多額の経費が見込まれる。幸い、当町では中央病院の送迎バスを交通手段として利用できるようにしている。役場前を停留場所にしたことで町民の方にご利用いただき、一定の効果が出ていますので今後も中央病院の送迎バスを含めて、様々な方法をさらに調査してまいりたい。

問 町が一元管理化している公用車の運用については、最小の経費で最大の効果を目指す施策上、その有効利用は、大きく評価できるものと考えている。さらに一歩前進させて、町保有のバスも一元管理化できないものか伺う。さらに安価で低燃費な10人乗りのワゴン車など、何台か保有して導入することにより、学校・各種団体行事に加え、町内コミュニティバスにまで広く活用できるのではと考えるが。

答 (成田町長)
町で保有しているバスは、板柳中央病院と教育委員会が保有しているバスを合わせると、大型バスが2台、マイクロバスが2台である。現在大型バスについては、学校行事や各種団体などに活用していただいているが、町外へ送迎する活用も多くなっている。例年であれば、6月から10月にかけて、ほぼ予約が埋まっている状態であり、バスの一元管理で町内のコミュニティバスとしての活用や新規にワゴン車を導入するには、運転手の確保や車両購入費のほか、維持管理費に係る費用など、様々な課題がある。他市町村の事例も参考にしながら、今後とも調査に努めてまいりたい。

問 総務課のバスで10人未満の件数をお知らせください。

答 (大井総務課長)
コロナ禍でバスの利用も、今年度、昨年度大分自粛されて各種団体の行事も少なくなってきた。10人以下で利用はない。もう一つの理由として、バスの運行は、各種団体に申込みを毎年度取っているが、団体が活用していただくとい

うことで、できる限り15名以上で申し込んでくださいとこちらからお願している。板柳中央病院のマイクロバスが10人未満で走っているのは何割ぐらいか。

答 (楠美中央病院事務長)
月別の令和2年度実績で、12月、2月、3月は10人以上で使用している。そのほかの8か月は10人未満で乗っている状態である。

問 大型バス2台、マイクロバス2台がある。板病の3か月間のところをマイクロバスで、あと8か月間は、名前がコミュニティバスであっても普通免許で乗せられる一般の10人未満の普通の車、ワゴン車で乗せられるのではと考える。また、1年前の政府統計データでは1,741市町村の中で914自治体が導入済みで、半分以上にあたる。さらに青森県内40市町村の中で22自治体が運用している。さらに、先日社会福祉協議会との勉強会では、「福祉上最も大きな課題は何でしょうか」という質問に対し、「生活するための足がない」ことが一番大きな問題であるとの話であった。

答 (成田町長)
これまで何回もご質問いただき、その都度調査をしている。大変お金もかかるということもあるが、もう一度、今の大型バス2台、そしてマイクロバスが2台あるので、この運行状況はどういう状況にあるのか、調査してみる必要があると思う。やはり町民の足の確保というのは、大変大事である。さらに高齢化が進んでいるので、そういった中では、ますますこれは需要が高まっていく。佐藤議員のお話を聞くと、県内では約半分以上の町村で行っているとお話もあるけれども、成功事例、先進事例を参考に、調査、研究したいと思う。





松森俊逸

第6次板柳町長期振興計画について

第6次板柳町長期振興計画素案のパブリックコメント募集が終了したが、今後のスケジュールはいかがなっているか。

(成田町長)

町ホームページや町広報紙などに掲載し、町民の皆さんに内容を周知してまいります。

本事業の総額はどの程度か。

(山口企画財政課長)

この54ページの長期振興計画が、そのまま製本されると理解していいのか。

(山口企画財政課長)

誤字を確認し、そのまま長期振興計画になると考えている。

一般町民はじめ関係者にパブリックコメントを求めているタイミングで、議会に素案を説明し、意見を聞き反映する考えはなかったのか。計画を決定して議会に是非だけを問うことをしないでほしいと再三言っているが、する気はないのか。

町民アンケート調査、町民ワークショップを開催して、広く町民の声が反映された計画と私は理解している。

(成田町長)

自主、自立性の高い持続可能な財政運営の確立を目指すことと記されているが、自主財源のみで財政運営が可能と考えているのか。

(山口企画財政課長)

自主財源だけでは、厳しいと感じている。

まち・ひと・しごとプロジェクトが先にでき、上位計画の長期振興計画がこれに合わせている。この矛盾はどう思うか。

(成田町長)

いづれの計画も目指すものは一緒だと考えている。役に立たない長期振興計画をつくるより、町の課題を全部書いている、まち・ひと・しごと創生総合戦略で十分である。

(成田町長)

板柳町人口ビジョンの2020改訂において、一番の改訂点は何か。

町の目標人口を5,226人へと3,484人減少したことが最も大きな改訂点だと考えている。

(成田町長)

人口ビジョンの特殊出生率はいくつに設定しているか。

2030年には1.8、2040年には2.07を想定している。

意見だが、不可能な数字をあげて計画を作らず現実味のある計画を策定すべきと考える。

常盤町踏切拡幅について

常盤町踏切拡幅にかかるとの県道五所川原岩木線道路改良事業の進捗状況は。

(成田町長)

9月から測量業務に着手すると伺っている。

私は安全確保の件で副町長室を2回訪ね、県に働きかけてほしい旨の要望をしたが、県に対してアプローチをしたのか。

そのような話があったというの記憶にない。

町長、副町長に改良に関して動いていただきたい。

(成田町長)

筆界未定の部分があり、道路法線の用地売買ができないと聞いた事がある。

ふるさと納税について

ふるさと納税歳入が8,000万円増額になったが、その用途は。

(成田町長)

5項目の中から寄付金の使い道を指定いただき、希望に沿ってまちづくりを活用させていただく。

各事業は当初予算で全部盛っているのに財源が増えたのでさらに割り振りするのはおかしい話である。増えた8,000万円は基金とし、ゆっくり考えるべきである。

町立小学校統合整備審議会の答申時期はいつか。

(永澤教育長)

コロナ感染症の影響で予定どおりできていない。当面は審議会です十分な協議が必要なことから、推移を見守って具体化していきたい。

審議会は、40億円、木造、板中の隣接地と小中連携を前提として諮問したのか。

(永澤教育長)

そういうことではなくて、そういうことを審議していたかどうかということをお願いしている。

教育委員会が決められた針どおりやることを前提にした審議会であるか。

(永澤教育長)

基本的な方針であって、決定ではない。いろんな方々のご意見を伺わなければいけないので設定している。要望だが、私も統合は必要だと考えるが、この問題を議論すれば最後にはうやむやにされる。議会と一緒にやるべきと考える。

小学校統合問題について

町立小学校統合整備審議会の答申時期はいつか。

(永澤教育長)

コロナ感染症の影響で予定どおりできていない。当面は審議会です十分な協議が必要なことから、推移を見守って具体化していきたい。

審議会は、40億円、木造、板中の隣接地と小中連携を前提として諮問したのか。

(永澤教育長)

そういうことではなくて、そういうことを審議していたかどうかということをお願いしている。

教育委員会が決められた針どおりやることを前提にした審議会であるか。

(永澤教育長)

基本的な方針であって、決定ではない。いろんな方々のご意見を伺わなければいけないので設定している。要望だが、私も統合は必要だと考えるが、この問題を議論すれば最後にはうやむやにされる。議会と一緒にやるべきと考える。

(永澤教育長)

基本的な方針であって、決定ではない。いろんな方々のご意見を伺わなければいけないので設定している。要望だが、私も統合は必要だと考えるが、この問題を議論すれば最後にはうやむやにされる。議会と一緒にやるべきと考える。

(永澤教育長)

基本的な方針であって、決定ではない。いろんな方々のご意見を伺わなければいけないので設定している。要望だが、私も統合は必要だと考えるが、この問題を議論すれば最後にはうやむやにされる。議会と一緒にやるべきと考える。

(永澤教育長)

基本的な方針であって、決定ではない。いろんな方々のご意見を伺わなければいけないので設定している。要望だが、私も統合は必要だと考えるが、この問題を議論すれば最後にはうやむやにされる。議会と一緒にやるべきと考える。



葛西 幸男

ふるさとセンターの
コテージについて

問 板柳町では、旅行者が観光、旅行に來ても、宿泊できるホテルや旅館がほとんどない。そこでふるさとセンターのコテージの比較的にしている閑散期は、料金を通常時より少し安くできないものか伺う。

答 (成田町長) ふるさとセンターのコテージの料金については、以前、他地域の公共宿泊施設に比べて料金設定が高いというご意見があり、平成23年12月に料金を改定した経緯がある。当時は、平日1人1泊7,000円、土日、祝日や繁忙期は、1名から3名までが1泊2万円、最高額は8名までの利用で3万5,000円と設定していた。それを人数ごとの料

金体系へ見直し、休日や繁忙期を問わず1名1泊6,000円、利用人数が増えるごとに料金単価が下がり、最高額は5名以上で2万円と設定している。また、料金改定前の利用者数は、平成22年度1,714名で、稼働率は19%ほどだったが、改定後は年々増加し、コロナ前の平成28年度には3,587名と利用者数は2倍に増え、稼働率も50%を超えている。現在は、コロナの影響により稼働率が3割ほどまで下がっているが、今年度は回復基調にあり、ある程度回復が見込まれている。ご提案の閑散期の料金の設定であるが、現時点の1人1泊6,000円という設定は、周辺の宿泊施設と比べて適切な料金であると認識している。議員ご指摘のとおり、町内の宿泊施設は限られており、今後においては、コテージ利用者へのサービス向上に努めるほか、SNS媒体の活用などにより、情報発信を強化しながらコテージの稼働率を高め、ふるさとセンターの活性化につなげてまいりたいと考えているので、ご

問 平成23年のこれは私が質問し、それで、安くなった。やはり今、ホテルや旅館では、閑散期るときは安くするところが結構多いので、忙しいときは通常どおりの料金でいいけれども、やはり閑散期るときは安く泊まれば、もっと人が多く来るのではないかとと思うが、考えてみてはいかがでしょうか。

答 (成田町長) 葛西議員のご質問であるが、以前にも葛西議員のご提案で改善されたということ、今初めて聞いた。おかげさまで利用者数、稼働率も現在は伸びている。そういった中で、また2回目の価格の閑散期における引下げということのご質問であるが、これについては、周辺を調べたところは、こういう価格でやっているという報告を受けているので、今後の状況を見ながら、これについては判断していきたいと考えている。

議会の動き (10月~12月)

開催日	会議等名	開催日	会議等名
10月	11日 議会だより編集特別委員会	12月	3日 第8回定例会 (開会、提案理由等)
	13日 町例月出納検査 (監査)		〃 議員全員協議会
	15日 西北津軽郡町議会議長会協議会		7日 第8回定例会 (一般質問・7名)
	19日 議会運営委員会		8日 各常任委員会
	〃 小学校統合問題検討特別委員会		9日 議員全員協議会
	20日 青森県町村議会議長会正副議長・事務局長研修会		〃 第8回定例会 (採決、閉会)
	27日 議会だより編集特別委員会		10日 町例月出納検査 (監査)
11月	1日 議会だより編集特別委員会	20日 議会運営委員会	
	2日 知事を囲む行政懇談会	〃 議案説明会	
	8日 町例月出納検査 (監査)	〃 第10回臨時会	
	22日 議案説明会		
	24日 弘前地区環境整備事務組合議会定例会		
	〃 津軽広域連合議会定例会		
	〃 弘前地区消防事務組合議会定例会		
30日 議会運営委員会			

一目で分かる審議結果

○全会一致の議案

◆第8回定例会（令和3年12月9日）

議案番号	議案	結果
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて	全員承認
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて	全員承認
議案第21号	板柳町過疎地域持続的発展計画の策定について	全員可決
議案第22号	板柳町産業振興促進区域における固定資産税の特別措置に関する条例の制定について	全員可決
議案第23号	行政手続きにおける押印見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	全員可決
議案第24号	板柳町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	全員可決
議案第25号	板柳町国民健康保険税条例の一部改正について	全員可決
議案第26号	板柳町国民健康保険条例の一部改正について	全員可決
議案第27号	令和3年度板柳町一般会計補正予算（第4号）	全員可決
議案第28号	令和3年度板柳町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	全員可決
議案第29号	令和3年度板柳町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	全員可決
議案第30号	令和3年度板柳町介護保険特別会計補正予算（第2号）	全員可決
議案第31号	令和3年度板柳町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	全員可決
議案第32号	令和3年度国民健康保険板柳中央病院事業会計補正予算（第2号）	全員可決
議案第33号	令和3年度板柳町水道事業会計補正予算（第2号）	全員可決
議案第34号	令和3年度板柳町公共下水道事業会計補正予算（第2号）	全員可決
議案第35号	令和3年度板柳町一般会計補正予算（第5号）	全員可決

○全会一致の議案

◆第10回臨時会（令和3年12月20日）

議案番号	議案	結果
議案第36号	令和3年度板柳町一般会計補正予算（第6号）	全員可決

※定例会及び臨時会については
広報いたやなぎにも掲載されて
います。



任 査 委 員 会 常 審

総務産業厚生 常任委員会

■板柳町過疎地域持続的発展計画

◎法令改正により、新たに過疎地域の指定を受け、条件を満たしたとのことだが、どういう条件か。

①A 当町が満たしている条件は、昭和50年から平成27年までの40年間の人口減少率が、財政力指数の高いところだと28%以上、財政力指数が0.40以下の場合、23%以上という条件がある。当町の財政力指数は0.40以下であり、減少率が26.73%であったことから、要件に合致している。

■国民健康保険税

◎未就学児の被保険者均一割について、その5割を軽減する規定を新たに定めるとのことだが、この改正で対象世帯はどのくらいあるのか。

①A 今未就学児が11月時点で77世帯が対象となる。
◎ 国保税の最高限度額はいくらか。
①A 国保だけだと、82万円、介護も含めると99万円となっている。

■町職員採用

◎採用予定者の辞退者が2名あったとのことだが、理由は。
①A 過去の例だと、ほかと掛け持ちして、そちらのほうに行くので、辞退するという事例があった。

■ふるさと納税

◎すぐく伸びているが、何が伸びた要因なのか。
①A 11月に入り、リンゴ生果の注文がすぐく伸びている。
◎ リンゴの生果は、どこを利用しているのか。
①A 板柳町の業者である。

◎業者ばかりではなく、一般農家からの方法は考えられないか。

①A ふるさと納税のほうに出品しませんかと募集をしている。

■青柳館大浴場脱衣所

◎柵を変えたようだが、広さは何も感じない。脱衣所の仕切りの壁を外してしま

うのはいかがか。
①A 面積自体は変わっていないので、同じである。ただ、できるだけ前よりも使いやすいようにと考えている。壁を取り外すのは、建築基準法でできないと聞いている。

■板柳中央病院事業会計

◎医療機器購入費、支出の部分で新型コロナウイルス検査装置123万4,000円とあるが、この機器はコロナの検出検査機器か。せっかく買うならば、一般町民にも対応できるようにしては。
①A 医師の判断にもよるが、費用が結構かかるので、簡単にやれるものではない。

◎例えば、成人式の時も使えるのでは。

①A あくまでも患者対応ということを考えている。

■消火栓

◎この前、火災があった際、消火栓が近場に1個あったが、そこにポンプ車止めた段階で、あとの分団がどれだけ来ていても、水をくみ上げるところがなかったと聞いた。消火栓の数がもうちよつとあれば、延焼を食い止められたと思うが。

①A 担当からも聞いていた。そういうところが町内にまだまだあると思うので、消

防団のほうとも今後話し合いをして、改善できるところは改善するようにしたい。

◆要望意見

町内の消火栓、防火水槽などの消防設備について、設置箇所の再点検とその見直し、対応策を講ずること。

福祉建設文教 常任委員会

■マイナンバーカード

◎交付率は何%か。
①A 11月末で3,107人、交付率としては23.5%という状況である。

◎もう少しPRしたほうがいいのでは。

①A 少しでも交付率を上げるために夜間延長と休日交付を実施している。広報と町ホームページにも載せてはいるが、もう少し力を入れていきたい。

■学校、保育施設サーマルカメラ

◎学校のサーマルカメラの財源は、コロナの交付金を利用するのか。
①A コロナの交付金と聞いている。

◎なぜ保育園は、今なのか。

①A 予算の編成時期に法人にも打診したら、サーマルカ

メラの導入を検討しているということであり、町でも助成をすると事業を企画した。

◎1事務所あたり40万、小学校は1台あたり41万、全額補助ということか。
①A 1台40万というのは、昨年の公共施設の購入実績を目安にして積算した。

◎無償貸与すればいいのでは。
①A 機能や、自分たちの施設に合うもの、買う台数、自分たちで買う設計できると思っているので、事業費補助金としている。

■板柳中学校光熱水費

◎新築を見越して当初予算で光熱水費、ランニングコストを見ていたが、それ以上にかかったので、補正し追加になったのか。
①A 令和2年度から新しい校舎だが、そのとき水道料、下水道料が非常に下がった。随分安くなったと思ったが、予算要求よりも実際かかっているということである。

◎電気も高性能のLEDなどになったが、多くかかったのか。

①A 電気に関しては、新築ということだけではなく、Wi-Fi環境など、それほ

ど下がらない部分もあった。

■国民健康保険事業

◎予算書を見れば、コロナによる受診控えの状況により医療費が少し圧縮されている。来年度の国保税に關して、場合によっては下げられることも現状では可能ではないのか。

▲医療費の増減に關しては、減少傾向であるというのを感じているが、保険税云々というのは今現在まだ申し上げられない。

■入札談合情報

◎官製談合などと言う事實は一切ない。よって法的な措置も取る、と言っていたが、法的な措置とは誰を相手に、何を指して言っているのか。

▲被害があった場合である。被害というのは、例えば入札事務が停滞して時間的浪費した場合である。

◎町の方針はまだ決まっていないのか。

▲官製談合だということ、まずはその談合の有無、公正入札調査委員会として実際疑われるものがあるのかどうかは最初の話だと思ふ。

◎前回、今回とやはり構造的な問題があると思ふ。根

本の最低制限価格の設定条例等をもう一回見直すのが危機管理だと思ふが。

▲最低制限価格というのは、何年かに一回経済情勢によって変わる。

◆要望意見

入札にかかる最低制限価格制度の運用の見直しを図ること。

陳情等の審議結果

◆陳情

安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情
審議未了

◆要望

令和4年度 理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願
採 択

母（毛嘉萍）が中国で不法に逮捕されている件に関する要望
資料配付

ウイグルの人権問題に対し国に調査を求める意見書採択のお願い
資料配付

小学校統合問題検討特別委員会活動報告

第8回定例会で今浩一委員長が報告した内容です。

第11回（令和3年10月19日）

小学校統合に関連性のある「学童クラブ」および「通学路の除雪」について、担当課である介護福祉課・地域整備課両課長に加え、町の施設を管理する総務課長を交えて、意見交換を行いました。統合にむけて「学童クラブ」の在り方等について、どの様な考えで、検討されているのか伺ったところ、まだ何も検討はされていない。との事でした。「通学路の除雪」等についての考えを伺ったところ、こちらも何も検討はしていないとの事でした。教育委員会が基本方針を決めた会議では、今年度から基本設計等を着手し、令和7年度の開校を目指した計画でした。しかし、議会から求める説明にも具

体的に答えず、関係する役場内部での調整・検討も出来ていない状況を見ると、そもそもその計画自体に無理を感じます。合わせて、基本方針そのものに対しても疑問を感じます。当委員会では、多額な予算投入となるこの問題を、町へあたえる影響も考慮し、総合的な検討をしていきたいと考えます。その上で再度、教育委員会との連携を教育長へ申し上げ、報告を終わります。

※これまでの活動報告・内容について

読みとりは
コチラ



視察・研修レポート

青森県町村議会議長会 正副議長・事務局長研修会



令和3年10月20日（水）
青森県労働福祉会館（青森市）
参加者：佐藤洋治議長、三戸玲子副議長

青森県町村議会議長会 知事を囲む行政懇談会



令和3年11月2日（火）
ホテル青森（青森市）
参加者：佐藤洋治議長

青森県町村議会議長会 第65回町村議会議長全国大会



令和3年11月26日（金）
明治記念館（東京都）
参加者：佐藤洋治議長

「夢追人」を募集しています！ いたやなぎ町議会だより

内 容：表紙写真の掲載
(町内在住、男女年齢・個人団体
問わず。大人の方でも大歓迎!!)

募集期間：随時募集

選考方法：議会だより編集特別委員会
で審査を行い、選出します。

問 合 せ：板柳町議会事務局

編集後記

令和四年になり相変わら
ずの大雪で毎日雪片付けで
大変苦労されていること思
います。

また、新型「コロナウイルス
が再び猛威を振るっています。
今年こそは、コロナも終
息し、活気ある年になりま
す様に祈るばかりです。

終わりに、冬季オリンピック
の日本勢の活躍をお祈り
致します。

（委員 工藤 貢）



【発行責任者】

議長 佐藤 洋治

※第33号発行予定は5月13
日頃です。

議会だよりへのご意見・
ご感想をお聞かせくださ
い。